



平成22年10月20日

子どもが天窓・ガラス屋根から墜落する事故が発生しています。

～過去5年間で12歳以下の子ども21人が墜落～

今月10日、神戸市内マンションにおいて、11歳の男児が天窓を突き破って墜落した事故が発生しました。東京消防庁では、平成17年4月から22年9月末までに、明り取り用の網入りガラスや天窓を踏み抜いたり、墜落したりするなどの事故により12歳以下の子ども21人が救急搬送されており、今年だけでも、3人が搬送されています。

このため、東京消防庁では、関係する機関や団体に事故の発生状況を通知して、同種事故の絶無に向けた働きかけを行ってまいります。

- 1 初診時程度別では、「中等症」（入院を要するもの）以上が16人で、天窓等からの墜落事故の76.2%を占めています。
- 2 発生場所別では、「マンション・アパート」の天窓等からの墜落事故が14人と最も多く、天窓等からの墜落事故の66.7%を占めています。
- 3 年齢別では、8歳から11歳までが15人で、天窓等からの墜落事故の71.4%を占めています。
- 4 発生動作別では、天窓上で「遊ぶ」が最も多く、52.3%を占めています。

詳細は、別添え資料をご覧ください。

東京消防庁では、天窓・ガラス屋根からの墜落事故の発生状況を注視し、注意を促すなど、都民の安全確保に努めてまいります。

問い合わせ先

東京消防庁 (代) 電話 3212 - 2111
生活安全課生活安全係 内線 4206
広報課報道係 内線 2345～2349

別添え

12歳以下の子どもの天窓・ガラス屋根からの墜落などによる救急事故の発生状況

1 天窓・ガラス屋根からの墜落などによる救急事故の発生状況

(平成17年4月1日から平成22年9月30日まで)

(1) 初診時程度別・年齢別発生状況 (単位:人)

	死亡	重篤	重症	中等症	軽症	合計
0歳	—	—	—	—	—	0 (0.0%)
1歳	—	—	—	1	—	1 (4.8%)
2歳	—	—	—	—	—	0 (0.0%)
3歳	—	—	—	—	—	0 (0.0%)
4歳	—	—	—	1	—	1 (4.8%)
5歳	—	—	—	—	—	0 (0.0%)
6歳	—	—	—	1	—	1 (4.8%)
7歳	—	—	—	1	—	1 (4.8%)
8歳	—	—	—	3	2	5 (23.8%)
9歳	—	1	—	1	1	3 (14.3%)
10歳	—	—	—	1	2	3 (14.3%)
11歳	—	—	1	3	—	4 (19.0%)
12歳	—	—	2	—	—	2 (9.5%)
合計	0 (0.0%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)	12 (57.1%)	5 (23.8%)	21 (100.0%)

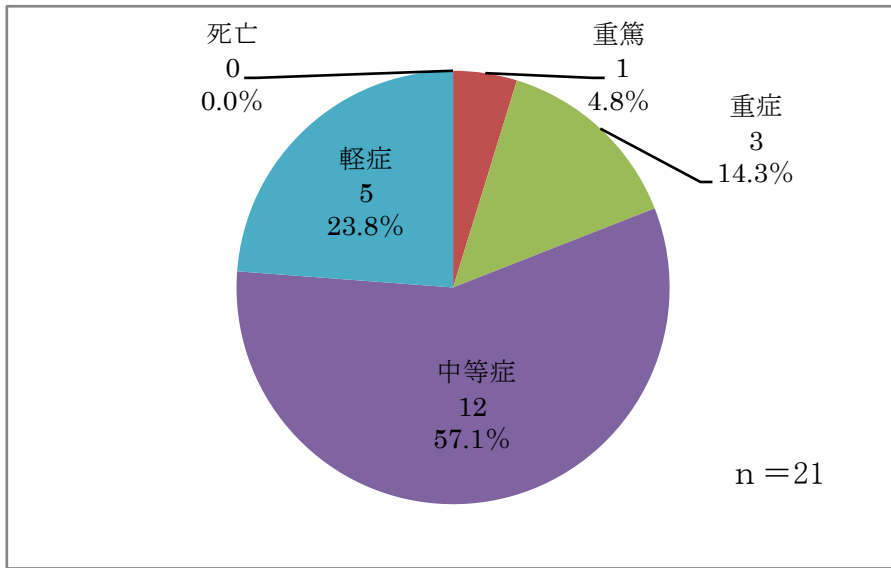


図1 初診時程度別事故人数

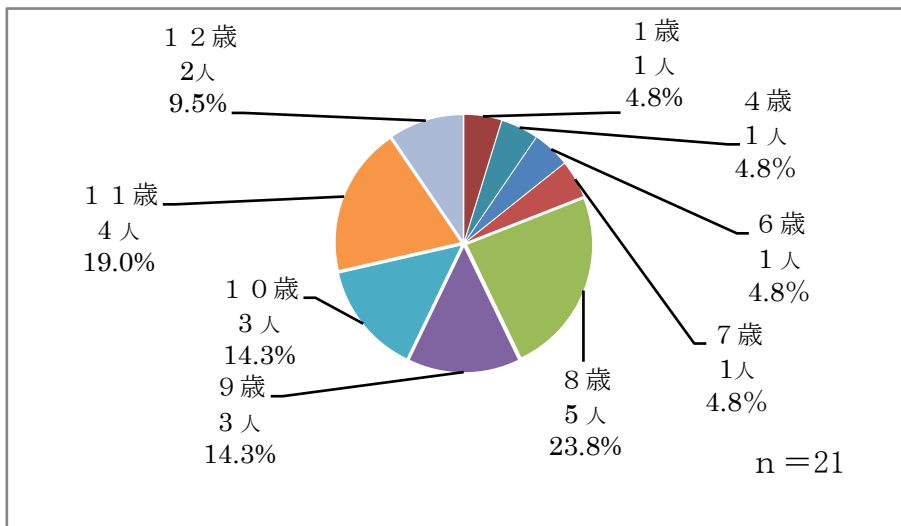


図2 年齢別事故人員

(2) 場所別・年齢別発生状況 (単位：人)

	マンション・ アパート	公園内の 公衆トイレ	学校	その他	合計
0歳	—	—	—	—	0 (0.0%)
1歳	1	—	—	—	1 (4.8%)
2歳	—	—	—	—	0 (0.0%)
3歳	—	—	—	—	0 (0.0%)
4歳	1	—	—	—	1 (4.8%)
5歳	—	—	—	—	0 (0.0%)
6歳	1	—	—	—	1 (4.8%)
7歳	—	—	—	1	1 (4.8%)
8歳	4	1	—	0	5 (23.8%)
9歳	2	—	—	1	3 (14.3%)
10歳	1	1	—	1	3 (14.3%)
11歳	4	—	—	—	4 (19.0%)
12歳	—	—	2	—	2 (9.5%)
合計	14 (66.7%)	2 (9.5%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	21 (100.0%)

※その他：機械室、駐輪場、事務室

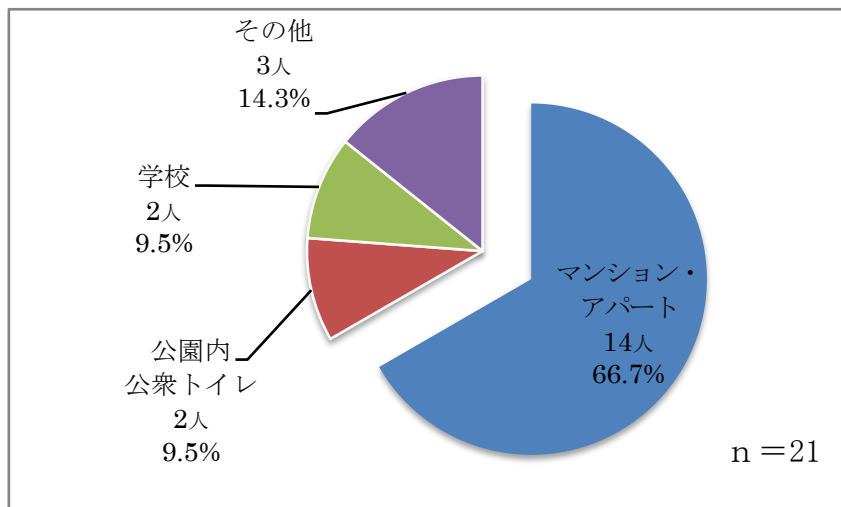


図4 場所別事故人数

(3) 動作別人員

事故発生時動作を、「遊ぶ」、「歩く・乗る」、「坐る」、「不明」に分類し、以下の表にまとめた。

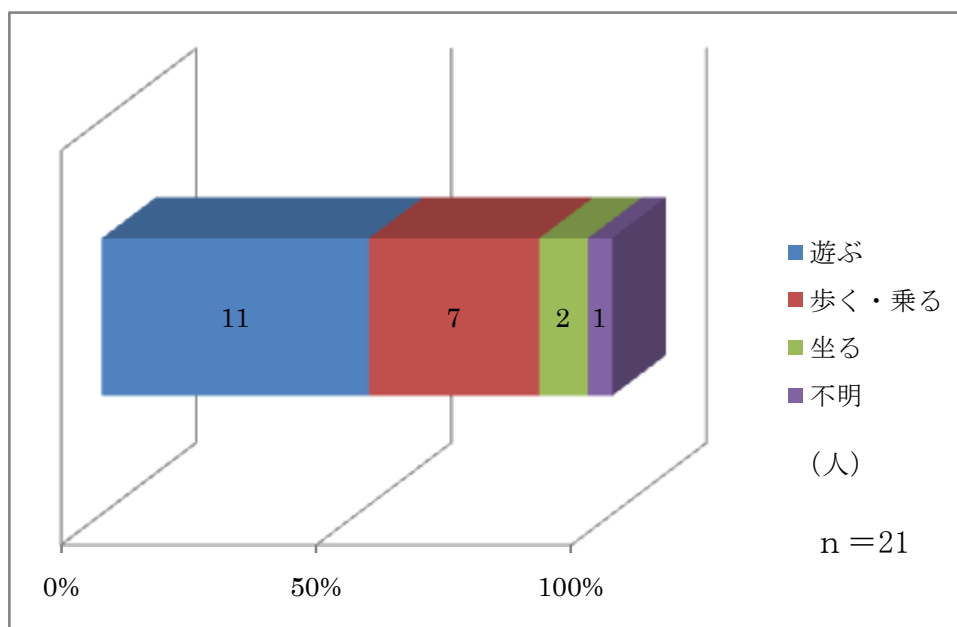


図5 動作別人数

2 天窓・ガラス屋根からの墜落などの主な事例

- (1) 9歳男児が、マンション内でボール遊びをしていたところ、連絡通路の屋根にボールが上がってしまったので、建物内の手摺りをよじ登り、連絡通路の屋根にあがった。その際に、男児が通路の屋根に設置されている天窓（網入りガラス、厚さ3.5mm）の上で飛び跳ねたため、網入りガラスが割れ、墜落（高さ約4m）した。【中等症】
- (2) 10歳男児が、マンション内で友達と鬼ごっこしている時、エントランスの天窓に乗ったため、その天窓が割れ、1階部分に墜落（高さ約3m）した。【中等症】
- (3) 8歳の男児が、公園内の公衆トイレの屋根に登り、明かりとり用の天窓部分（ガラス製）に乗ったところ、天窓が割れて墜落（高さ約3m）した。【中等症】
- (4) 9歳男児が、アパートの地下1階機械室内のガラス製天窓上で遊んでいたところ、踏み抜いて墜落（高さ不明）し、右上肢を受傷した。【重篤】
- (5) 11歳の男児が、マンションの1階ロビーの屋根に落ちた物を取ろうとして、2階部分から屋根に飛び移ったところ、天窓部分（ガラス製）に着地したため、ガラスが割れ、1階ロビーに墜落（高さ約3m）した。【中等症】

3 事故事例写真



4 天窓・ガラス屋根に係る事故防止のポイント

- (1) 天窓・ガラス屋根を有する施設の管理者等は、子どもが天窓・ガラス屋根に至る足場となりそうなものを取り除く、天窓の周囲に柵を設けるなど、容易に天窓・ガラス屋根に近づくことができない環境をつくる。
- (2) 天窓・ガラス屋根からの墜落事故では、動作別にみると「遊ぶ」が最も多く、さらに入院が必要となる中等症以上の負傷者が76.2%を占め、重大な事故となっていることから、保護者は天窓やガラス屋根に乗ると破損し、墜落する危険があることを子どもに教え、十分に理解させる必要がある。

東京消防庁
救急相談センター

#7119 (携帯電話・PHS
プッシュ回線)

24時間年中無休

救急相談・医療機関案内

その他の電話やつながらない場合は

03-3212-2323(23区)

042-521-2323(多摩地区)

急な病気やケガをした場合に、「救急車を呼んだほうがいいのかな?」「今すぐ病院に行った方がいいのかな?」など迷った際の相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。